

標準委員会 第21回基盤・応用技術専門部会議事録

1. 日 時 2013年9月12日(木) 10:00~11:50

2. 場 所 5東洋海事ビル 会議室A+B

3. 出席者(敬称略)

(出席委員) 岡本(部会長), 萩原(副部会長), 吉田(幹事), 上野, 笠原, 北島, 越塚(途中入室), 堺, 坂本, 宿谷, 田中, 沼田, 日比, 宮坂, 山口(15名)

(代理委員) 湊代理(日立GEニュークリア・エナジー/西田委員)(1名)

(委員候補) 伊藤, 西谷(2名)

(欠席委員) 石川, 市川, 岩崎(3名)

(傍聴者) 中村((財)エネルギー総合工学研究所)(1名)

(事務局) 室岡(1名)

4. 配付資料

ATC21-0 議事次第

ATC21-1 前回議事録(案)

ATC21-2-1 人事について

ATC21-2-2 JNES 委員及び規制庁常時参加者について

ATC21-3 「発電用原子炉施設の廃止措置時の耐震安全の考え方:20XX(案)」公衆審査の報告について

ATC21-4 「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画:201X(案)」公衆審査の報告について

ATC21-5-1 「日本原子力学会標準 線ビルドアップ係数:201X」

ATC21-5-2 日本原子力学会標準「線ビルドアップ係数」の表現の適正化に係る修正案について

ATC21-6 標準委員会技術レポートについて

ATC21-7 分科会の活動状況について

ATC21-8 標準委員会及び傘下の委員会等に関する各種取扱いについて(案)

参考資料

ATC21-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC21-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から,開始時点で委員21名中,代理委員を含めて17名が出席しており,成立に必要な定足数(14名以上)を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録(案)の確認(ATC21-1)

事務局から,前回議事録(案)について説明があり,前回議事録(案)は承認された。

(2) 人事について(ATC21-2-1, ATC21-2-2)

事務局から,資料ATC21-2-1に基づき,専門部会及び分科会の人事について以下のとおり紹介を行った。

1) 専門部会

委員の退任【報告事項】

松本 洋志（東京電力㈱）

浦上 学（関西電力㈱）

新委員の選任【承認事項】

伊藤 英一郎（東京電力㈱）

西谷 英樹（関西電力㈱）

委員の再任【承認事項】

宿谷 弘行（㈱テプコシステムズ）

常時参加者の登録【承認事項】

鈴木 健之（原子力規制庁）

審議の結果、伊藤氏、西谷氏の選任、宿谷氏の再任及び鈴木氏の常時参加者登録が承認された。

2) 分科会

委員の退任【報告事項】

放射線遮蔽分科会

中田 哲夫（原子力安全基盤機構）

委員の選任【承認事項】

廃止措置分科会

藤本 博之（三菱重工業株式会社）

審議の結果、分科会の1名の委員の選任が承認された。

また、資料 ATC21-2-2 に基づき、事務局から JNES 委員及び規制庁常時参加者についての状況が説明された。JNES の笠原委員から、シミュレーションの信頼性分科会の主査は当面継続することになったことが報告された。

(3) 【報告】「発電用原子炉施設の廃止措置の耐震安全の考え方:20XX(案)」公衆審査結果報告 (ATC21-3)

事務局から資料ATC21-3に基づき、2013年7月5日から2013年9月4日の期間で行われた「発電用原子炉施設の廃止措置の耐震安全の考え方:20XX(案)」の公衆審査の結果、特に提出意見はなかったことが報告された。特にコメント、意見等はなく、次回標準委員会へ報告することが承認された。

(4) 【報告】「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画:201X(案)」公衆審査結果報告 (ATC21-4)

事務局から資料ATC21-4に基づき、2013年6月28日から2013年8月27日の期間で行われた「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画:201X(案)」の公衆審査の結果、特に提出意見はなかったことが報告された。特にコメント、意見等はなく、次回標準委員会へ報告することが承認された。

(5) 【報告・審議】「線ビルドアップ係数」標準の修正について (ATC21-5-1, ATC21-5-2)

放射線遮蔽分科会の坂本主査から、資料ATC21-5-1, 21-5-2に基づき、「線ビルドアップ係数」標準の修正について報告があり、パラメータのフィッティング法及び標準案でのその記載の仕方、数値データの信頼性確保に関する質疑があった。

審議の結果、今回の修正は編集上の修正であると判断し、標準委員会へ報告することが承認された。その際には部会での審議内容を報告するとともに、フィッティングの考え方等を次回の改訂時の解説に詳しく明記し、データの品質保証についても分科会・部会で継続して審議していくこととなった。

(6) 技術レポートについて (ATC21-6)

事務局から、資料ATC21-6に基づき、標準委員会技術レポートの作成に関する説明が行われた。1ページの1番下の行で、「書面投票に合わせて」は期間を合わせるという意味なので、誤解がないよう表現を修正する。

(7) 基盤・応用技術専門部会 分科会活動状況 (ATC21-7)

事務局から、資料ATC21-7に基づき、各分科会の活動状況が報告された。

6. その他

- ・事務局から、資料ATC21-8に基づき、標準委員会及び傘下の委員会等に関する各種取扱いについて報告された。
- ・次回第22回基盤・応用技術専門部会は、12月2日(月)10時からとした。

以上